

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人舞鶴学園 タンポポハウス	施設 種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		

平成19年12月6日

総 評	<p>タンポポハウスは敗戦復帰の児童福祉に関わる社会事業としてスタートした児童福祉施設の流れを受けてスタートしました。故に法人のコンセプトは、「施設は家庭に代わる安全地帯であり、子どもたちの協調性や思いやりを育み健やかな発達の保障と自立を支援すること」としています。子どもの発達や自主性を尊重した保育に取り組んでおられます。終始、園長（管理者）と職員等が穏やかに園児や保護者に接しておられるためか、時間の流れも感じられない雰囲気でした。園児はもちろん、職員、保護者までもが笑顔で活気にあふれていました。今回の第三者評価受診において、サービスの質の向上を目的に全職員で取り組まれ、自己評価も謙虚な気持ちで臨まれていました。今後も、子どもの最善の利益のための保護者や地域社会と力を合わせたさまざまな取り組みが期待できる施設です。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育計画を年、月、週、日毎に作成し、詳しく記録された保育日誌や観察日誌により、子どもの心身や生活状況が把握されています。保護者アンケート調査からも、保護者からの信頼と理解が得られていることが判りました。</li> <li>・ 職員の創意と工夫をこらした手作りの品々が、子どもたちの豊かな心の成長を応援しています。</li> <li>・ 自然に恵まれた環境を生かして園庭が全クラスルームに開放され、花や虫や小動物とのふれあい、異年齢間の子どもたちとの交流が自然に行われています。</li> <li>・ 子どもたちが美味しい給食を楽しく食べられるように、子どもの状況に合わせた、きめ細かい対応をしておられます。保護者の試食会やレシピの提供、また保護者の状況と要望によっては夕食・捕食の提供をし、“食育”に力を入れておられます。</li> <li>・ 歯科健診を0歳児から全児に実施し、食後の口腔ケアの励行で虫歯の予防と早期発見・治療に努めておられます。</li> </ul>

特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 園独自のホームページを開設し、園の目指す方向性(理念や方針)と、それに裏付けされた日々の活動や園児等の様子を広く地域社会に情報公開されることにより、より一層、地域からの賛同を得ることができるものと考えます。より地域社会に根ざした園として、貢献されることを期待します。</li><li>・ 中・長期計画では、施設スペースの拡大を思案されています。職員と保護者、地域に理解を求め、実現に向けた取り組みを期待いたしております。</li><li>・ 各種マニュアルや手順書等を作成し、業務の標準化や業務点検のツールとして活用することが求められます。</li><li>・ 地域ニーズを把握し、広く地域を対象とした育児相談や啓蒙活動等を行い、保育所が持つ専門性を地域に提供し、地域社会との連携を図っていただくことを望みます。</li></ul>
---------------	--

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【共通評価基準】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	社会福祉法人舞鶴学園 タンポポハウス
施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人市民生活総合サポートセンター
訪問調査日	平成19年10月15日

## I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
理念・基本方針	I-1-1(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	B	A
	I-1-1(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	B	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	B	B
計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
	I-2-1(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	B
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

## 【自由記述欄】

社会福祉法人タンポポハウスは、昭和21年開設された児童養護施設(舞鶴学園)を母体とした保育所です。「保育理念」に、「「見つめる目 育てる芽」～小さな子どもたちの大きな輝きを伸ばす保育～」を掲げ、「保育方針」には、理念に基づいて「自分で考え、自分で行動できる子どもに。心と身体が健康な子どもに。自然を大切に、思いやりの心をもつ子どもに。」と、法人の保育感を明示しています。また、子ども一人ひとりへの関わりを大切に、子どもたちのより健やかな成長・自立への支援が「保育所の役割」として明文化しています。「理念」や「方針」「役割」を職員の行動規範とし、憲法の精神である「児童憲章」とともに事業所案内のパンフレットに明記し、保護者と職員全てに配布しています。他に、「理念」や「方針」「役割」を事業所内に掲示したり、月2回の職員会議、保護者会において説明するなどして、全ての職員・保護者に周知できるように努めています。法人のホームページに、グループである児童養護施設やこども家庭センターは詳細に紹介されています。が、「保育理念」や「保育方針」に基づいたタンポポハウスの情報の掲載はなく、広く市民や保護者、関係機関等の知るところとなっていません。社会的使命感に裏付けされた数々の保育実践を広く公共にPRされることをお勧めいたします。地域からの信頼と安心感がより高まると思われれます。中・長期計画に保育スペースの増設やイベントコーナーの特設などをあげておられます。今後の経営の安定や保護者・職員の安心感に繋がりますので、地域や保護者、保育の専門職による実現に向けた取り組みを期待します。管理者の役割と使命を「事業計画」に明記しています。これに基づいて、管理者は関係書物の購読や外部研修への参加、同事業所との交流などを行い、遵守すべき法令等の理解に努めておられます。今後、遵守すべき関係法令をリスト化し、日常的に確認することで全職員の理解を深めることが求められます。管理者は、保護者や職員の意見・要望に耳を傾け、社会が求める保育所のあり方を常に追及されています。今回の職員と保護者向けのアンケートでは、子ども本位の保育サービスを良好なリーダーシップで提供されているとの回答を得ています。子どもたちの心を育てている職員の姿勢が職員の作詞作曲「タンポポハウスのうた」に表現されています。「保育所保育指針」に基づき、職員の創意と工夫が活かされた保育実践を展開されています。子ども達一人ひとりの心身の状態をよく観察し、保護者や職員の思いを引き出して保育計画を立てておられます。年、月、週、日例毎の計画を実施し、実施後の評価と定期的な見直しを行い第三者にも理解できる方法で記録をされています。管理者は児童福祉精錬された社会福祉法人「舞鶴学園」での経験を生かし、保育サービスの向上に熱意を持って、自らもその活動に参画されています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	B
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		B	A	

## 【自由記述欄】

タンポポハウスが位置する所は農村地帯ですが、最近、周辺に新興住宅が増加していることから、子育て世帯や共働き家庭が増えてきています。こうした地域の保育ニーズに応える為、完全給食や夕食サービスの提供、早朝保育、延長保育、一時保育等を実践されています。また、最近の傾向として、入園に際して、第一にタンポポハウスを希望される保護者が増えてきており、期待が寄せられている施設として、サービスの質の向上に向けた取り組みの必要性を痛感されています。“理念”に掲げている「小さな子どもたちの 大きな輝きを伸ばすことができる」人を期待する職員像とし、職員の資質向上・育成に努めておられます。今後、職員の評価方法に「人事考課」などを採用されてはいかがでしょうか。職員一人ひとりの能力開発や育成、公正・公平な職員処遇の実現、対人援助専門職種としての意識と意欲の向上、組織の活性化に役立つものであり、検討されることを望みます。管理者は常に職員の就業状況の把握に努め、職員の労働環境に配慮されています。今回の職員アンケートでも、多くの職員が配慮されていると回答されていました。また、保育特有の過剰なストレスによる職員の意欲低下を未然に防ぎ、保育サービスを充実させるために、児童養護施設のカウンセラーとの連携を役立てています。理念追求の保育サービスには職員の教育・研修が不可欠であるとの認識において、常勤・非常勤を問わず公平に保育協会主催等の外部研修等に全職員を参加させています。研修参加者に研修報告書の提出を義務づけ、「職員会議」で伝達・共有しています。

## Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	B	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	B	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	C	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	C	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	B	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	A	

## 【自由記述欄】

法人は「運営理念」や「運営方針」に、基本姿勢として一人ひとりの子どもが安心して生活できる環境づくりを明記しています。職員等の子どもへの思いが手作りの壁掛けや園歌などに表現され、子どもたちが心穏やかに安心して生活できる環境が作られています。朝、夕の送迎の場を玄関先ではなく、あえてそれぞれの子どもたちのルームとし、クラスルームが園と保護者との情報共有の最適な場所と考えています。保護者と交わす「連絡帳」に、さまざまな相談事やエピソードを詳しく記載しています。又、保護者の日々の子育てニーズを「クラス便り」にフィードバックさせ、保護者等の安心感と満足度の向上に繋げています。保護者と職員との良好な信頼関係が、登降園時において相互に交わされる対話から十分に理解することができました。保護者がいつでも意見や苦情を述べやすい雰囲気をつくり、出された意見や苦情を業務改善に役立てておられます。今回の保護者アンケートには、保護者からの意見や苦情が適切に対応されていると、多くの保護者が回答されていました。今後、「苦情対応マニュアル」を作成し、意見や苦情をまとめ、その対応内容等を情報公開する仕組みを整備することで、保護者からの信頼がより一層高まるものと思われれます。全職員を月2回の「職員会議」に参加させ、園児に関する情報の共有とサービス内容の検討を深めることで、個々に応じた保育サービスの提供に努めています。「職員会議」で出された保育の質の向上や改善のための意見は公平に取上げることが、議事録で読み取れます。今回の第三者評価受審の自己評価についても、評価検討委員によって行い、これまでの振り返りより高い質の向上に向けた取り組みの良い機会とされました。子ども等の個別指導計画は、「保育所保育指針」に基づいて、年、月及び週、日毎に作成し、実施した内容を園日誌や保育健康観察記録、保育日誌などに記録しています。子どもの心身や生活の様子を全ての職員が把握し、随時、職員会議で課題を検討するなど、計画的な保育活動を行なっています。親子遠足や運動会などの行事はチームで計画し、実施後は必ず、アンケート調査により保護者から感想や意見を引き出して、次の行事内容に反映させています。保育園で楽しく過ごせるように、自作の芋掘り遠足や親子遠足、お泊り保育、老人ホームへの訪問、季節行事等、さまざまなプログラムを用意しています。植物や芝生に囲まれた園庭は各クラスから自由に入出りでき、異年齢間の楽しい活気ある交流の場となっています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

---

受診施設名	社会福祉法人舞鶴学園 タンポポハウス
施設種別	保育所
評価機関名	特定非営利活動法人市民生活総合サポートセンター
訪問調査日	平成19年10月15日

## 【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	B	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	B	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	C	B

## 【自由記述欄】

タンポポハウスは、保育の基本方針「保育方針」にかかげた3つの項目に基づいて保育計画を作成しています。職員は保護者の希望や期待を把握し、家庭的な温かい雰囲気を作っています。さらに、子どもたち一人ひとりと関わり、自立支援を行っています。この保育計画に基づき、子どもたち一人ひとりの指導計画を作成しています。保育計画を月2回の「職員会議」で検討し見直しを行っています。議事録から職員が活発に意見交換をしていることが判ります。保護者会や登降園時の聞き取り、連絡ノートの交換などで保護者の意向を把握していますが、地域のニーズ把握が不十分のように思われます。保育計画にあたっては、子どもとその背景にある家庭や地域の実態把握を充実していくことを期待します。子どもの健康状態に常に気をつけ、登降時の保護者からの聞き取り、連絡ノートの内容により、日々把握しています。0歳児を含める全保育児に、年1回の歯科、年2回の内科健診を行っています。虫歯の早期発見と治療に加え、全保育児に保育士による食後の歯磨きを徹底し、虫歯の予防にも力を入れています。“食育”にも意欲的に取り組まれています。管理者、栄養士、調理師、保育士による月1回の「献立会議」で子どもの喫食状況を把握し、改善に向けた取り組みを日常的に行っています。献立は2週間サイクルでメニューが豊富です。又、保護者には、年2回の試食会を提供し、献立レシピを配布する等、食への関心を高めています。調理の現場が小さな子どもたちからもガラス越しに見える設えとなっています。子ども一人ひとりが昼食を意欲的に楽しく食べ、完食する事を目標にしています。アレルギー除去食を保護者の希望により提供していますが、安全面から専門医の指示を元に対応されることの検討を期待します。

naka

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B



評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	B
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	B	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

## 【自由記述欄】

子どもたちが気持ちよく過ごせるようにと、廊下などのさまざまな空間に季節の草花が趣味をこらして生けてあります。園庭から砂泥が室内に入らないように、出入り口周辺に人工芝を敷き詰め美しさや安全を保っています。室内やトイレなど子どもの生活の場の清掃も行き届いています。職員の子どもたちへの話しかけが穏やかで、園全体が非常に落ち着いた雰囲気でした。しかし、2階建て施設の1階フロアのみで全児を保育しており保育スペースが狭く、年長児の保育、特設ランチルーム、乳児のオムツ交換の為のスペース確保を課題に上げておられます。中・長期計画において2階部分の使用や施設の増設などを検討しています。実現に向けて取り組まれることを期待いたします。しかし、ワンフロアや庭園では0歳～5歳の自然な交流がみられ、異年齢と共に遊ぶことで社会性が育まれる利点もあると思われます。多種の小動物を飼育したり、季節感あふれる植物を庭園で育てて自作のさつま芋料理を楽しむ等、身近な自然への関わりを大切にされています。“児童憲章”を法人理念とともに掲示し、子どもの人権を尊重しておられます。子どもの人権については、保護者も一緒に考え学習する機会が必要と思われます。性差については、～だから、～のくせに等という考え方はありませんが、家庭で自然に養われる男女の役割の意味について考えておられました。障害児保育は同室で提供されていますが、内容や方法には十分な配慮が見られました。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	C	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	C	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	C	A
	(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	B
A-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

## 【自由記述欄】

登降時のクラスルームで、保護者と職員の情報交換と共通理解が図られています。保護者と交わす「連絡帳」には子どもに関する情報や保護者の意見、思いなどが詳しく記載されていて、保護者とのコミュニケーションが良好に保たれています。又、日誌や個人記録等にも一人ひとりの子どもの園での生活の様子が丁寧に記録されています。虐待防止に関してはマニュアルを作成し、職員へは外部研修を行っています。虐待防止は社会的なニーズが高まっており、さらなる取り組みを期待しています。調理場の衛生管理や食中毒予防に関するマニュアルの整備を充実させ、サービスを標準化することを望みます。